



ばらばらで一緒

～美香保中だより～

発行 札幌市立美香保中学校

住所 東区北17条東6丁目1-1

電話 (011)-711-8151



第77回

入学式

「ばらばらで一緒」

校長 伊達峰史

温かな陽射しが日ごとにその輝きを増し、ここ美香保の街にもうらかな春の訪れが感じられる今日、美香保中学校に入学する94名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私たち教職員、そして2・3年生の在校生一同、心から皆さんの入学を歓迎いたします。

また、本日ここに、PTA会長様をはじめ、同窓会会長、学校運営協議会委員、地域や町内会の皆様、校区の小学校である、美香保小学校、北光小学校の校長先生など多くの御来賓の皆様、並びに保護者の皆様の御臨席を賜り、札幌市立美香保中学校第77回入学式を迎えることができますことを心より感謝し、謹んでお礼申し上げます。

新入生の皆さんは今日から美香保中学校の1年生です。2,3年生を含めた全校生徒260人のうちの大切な一人となりました。見渡しますと、凛と背筋を伸ばし、緊張しながらも真剣な眼差しで私の話を聞いている姿に新たな決意を感じます。一方で、不安もたくさんあるのではないのでしょうか。新しい環境に飛び込んできたのですから当然です。でも、安心してください。皆さんには、頼りになる2年生の先輩がいます。憧れとなる3年生の先輩がいます。先輩たちは皆さんのことを全力で支え、未来へと導いてくれるでしょう。

それでは、ここから先は少し肩の力を抜いて、想像を膨らませながら、私のお話を聞いてください。皆さんの中学校生活を一冊の本に例えてみたいと思います。

皆さんの手元に、一冊の分厚い本があります。タイトルは、『ばらばらで一緒』。中を開いてみると、ほとんどのページが白紙です。なぜなら、この物語を紡いでいくのはあなた自身だからです。つまり、あなたはこの物語の主人公であり、語り手となります。表紙をめくって、最初のページにだけ、文章が載っています。ここには、皆さんに対する私たち教職員の思いや願いが書かれています。読み上げます。

いよいよ中学校生活の幕開けです。この3年間を通して、あなたに意識して欲しい言葉があります。それは、この本のタイトルである『ばらばらで一緒』という言葉です。この言葉には、次のような意味があります。

「みんなそれぞれ違う。外見も、性格も、考えていることも、そう、‘ばらばら’。その‘ばらばら’を互いに認め合い、生かし合っこそ、人と人は心でつながり、‘一緒’になることができる。」という意味です。

ありのままの自分、自分にしかないよさをみんなに認めてもらえたら、嬉しいですね。そして、自分も自分とは違うみんなのことを認めることができたなら、素敵ですね。

私たちは、みんながみんなの中で自由に自分らしく生きられる、そんな『ばらばらで一緒』の学校を創りたいのです。あなたと共に創っていききたいのです。

『ばらばらで一緒』という物語を紡いでいく上で大切にしてほしいことが二つあります。

一つ目は、自分と他者を大切にしてほしいということです。あなたは、命を授かってからというもの、たくさんの人に守られ支えられ、愛情をそそがれて今ここにいます。あなたの命にはたくさんの人の思いが詰まっているのです。かけがえのない存在である自分を大切にしてください。そして、周りにいる人たちも、あなたと同じように、たくさんの人に支えられ、愛情をそそがれて今ここにいます。あなたと同じように、かけがえのない存在です。他者を大切にしてください。

二つ目は、心をつなぐコミュニケーションを大切にしてほしいということです。コミュニケーションは、その時の自分をさらけ出したり、苦痛を生み出したりする面もあります。でも、ほとんどの喜びや感動はコミュニケーションから生まれます。コミュニケーションを活発にして、ありのままの自分を知る機会にしたり、喜びや感動を覚えて命を輝かしたりするか、避けて自分を不透明にしておくかは、あなた自身の選択です。一回こっきりの中学校生活を、自分らしく楽しく生きるためにも、コミュニケーションを交わす勇気をもってください。

美香保中学校での出会いは、一生にただ一度限りです。長い人生の中で一瞬のことです。だからこそ、今この時を大切に人と接し、純粋に一生懸命生きてほしい。

この本があなたにとって、出会いと感動の足跡となり、未来へ羽ばたくための糧となることを願っています。



さあ、ここから先の何も書かれていない白紙の部分に、あなたはどんな物語を紡いでいきますか。

もう一度言います。この物語『ばらばらで一緒』の主人公、そして語り手は、あなた自身です。94名の新入生の皆さんが紡いでいく、94通りの物語がどのように繰り広げられていくのか、教職員一同、心から楽しみにしています。

最後に、保護者の皆様に申し上げます。これまで12年間大切に育ててこられたお子様をお預かりし、これより義務教育最終の3か年に入ります。中学生の3年間は、義務教育の仕上げの時期であり、長い人生の中でも、最も大きく成長する大切な時期です。本校教職員一同、心一つにして、お子さまの健全な心身の育成に資するよう、誠心誠意努力してまいります。

また、学校は地域に浮かぶ船です。その船がどこに向かっていくのか、学校、家庭、地域がしっかりと共有していくことが大切と考えています。本校の教育に保護者並びに御家族の皆様、地域の皆様の一層の御理解と御協力を重ねてお願い申し上げます。

在校生代表から

歓迎の言葉

第75期生徒会会長

暖かい日差しが降り注ぎ、春の訪れを感じる季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。私たち在校生は、皆さんの入学を心待ちにしています。

新入生の皆さんは今日、どのような想いで、この美香保中学校の校舎に足を踏み入れたのでしょうか。期待や希望を持ちつつ、その心のどこかには不安や戸惑いの気持ちがある人もいるかもしれません。ですがその気持ちはここにいるみんなも同じです。みなさんの隣りに座っている、これから三年間、中学校生活を共にしていく仲間もきっと同じ気持ちのことでしょう。さらに、新入生だけでなく後ろにいる在校生も一、二年前は同じ気持ちでした。ですが、同じ学級、学年の仲間や、美香保中学校の教職員の皆さん、卒業していった先輩方がとても優しく、暖かく迎え入れてくれて、私たちはとても楽しく明るい気持ちで、中学校のスタートを切ることができました。新入生のみなさんも美香保中学校という校舎の下で仲間という存在を大切に、大きく成長しながら、人生に一度しかない中学校生活を思う存分楽しんでください。

また、美香保中学校は毎年、行事に力を入れております。夏に行われる野外学習や体育大会、秋には合唱コンクール、学校祭など、様々な機会仲間と繋がることができます。これから新入生の皆さんとまだ見ぬ、美香保中学校の景色を、一緒に見ていくことを楽しみにしています。

最後になりますが在校生代表として改めて伝えさせていただきます。中学校生活はとても早く過ぎていきます。

せてください。中学校生活はとても早く過ぎていきます。

ですが、その早く過ぎていく日数の中には、数え切れないほどの成長と思い出があります。

ぜひ一日一日を大切にしながら中学校生活を歩んでいってください。そして一緒にこの美香保中学校をより明るく楽しいものへと創り上げていきましょう。

新入生代表から

誓いの言葉

新入生代表

雪がとけ、段々春を感じられる天候が増えてきました。先月、私達は、楽しい六年間を過ごした小学校を卒業しました。そして、これから始まる中学校生活への期待を胸に、今日の入学式を迎えました。

中学校では、新しくなった環境と難しくなる勉強のダブルパンチで、不安に思うこともたくさんあります。それでも私達は、くじけずにコツコツ学んでいくことの大切さを小学校で学びました。小学校での学びを忘れずに、中学校でも勉強を頑張っていきます。

これからの三年間は美香保中学校の一員として新たに過ごしていくことになります。勉強の他に、私がかんばりたいことは、中学校での三年間を「楽しかった」と言えるような時間にすることです。そのためには、勉強や遊び、行事などの両立が必要不可欠です。今日、この日から、新しい仲間との出会いを大切にして、幸せな三年間を自分達で創りあげられるようにかんばっていきます。

保護者のみなさま、先生方。新たな環境になり、たくさん迷惑をかけるかもしれませんが、よろしくお願いします。